

「富士市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」 計画期間の取組結果について

市役所は、市内の事業所の一つとして、環境に優しい行動に努めています。

平成23年度から取り組み、平成27年度で計画期間が終了した「富士市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」の結果を報告します。

富士市地球温暖化対策実行計画 （事務事業編）

この計画では、市役所の事務事業において発生する温室効果ガス排出量を、下表のとおり5つの区分に分け、基準年度である平成21年度に対し、平成27年度までに、全体で9.5%削減することを目標に掲げていました。平成27年度の総排出量は、6万2962.5 t-CO₂で、平成21年度から6.0%の削減となり、目標値には達しませんでした。排出量を大きく削減することができました。

主な増加要因は、電力会社の排出係数の増加

東日本大震災の影響で、発電時の化石燃料の利用量が増加し、電力会社の排出係数が大幅に悪化したことから、区分①における電力使用に伴う排出量も大きく増加しました。なお、節電などの取り組みにより、電力使用量は8.5%減少しています。

※1kWhの電力使用で排出される温室効果ガスの量を示す数値。この数値が大きくなると、同じ量の電気を使用している、よ

り多くの温室効果ガスが排出されます。なお、数値は電力会社ごとに異なります。

市役所は、平成28年3月に策定した「富士市地球温暖化対策実行計画（事務事業編第二期計画）」において、平成32年度を目標にさらなる温室効果ガス排出量の削減に取り組めます。今後も、職員の省エネ行動の推進や、設備の省エネタイプへの更新など、引き続き電気・ガスなどの使用量削減に努めるとともに、電力の契約においては、排出係数に配慮した契約を推進します。

区別温室効果ガス排出量 (t-CO₂)

区分	排出量 (t-CO ₂)		増減量 (t-CO ₂)	増減率 (%)	
	H21 (基準年度)	H27		H27 目標値	H27
①市役所独自に取り組むことのできる排出量	35,662.3	37,322.6	1,660.3	4.7	-5.9
②一般廃棄物焼却に伴う排出量	28,391.4	23,470.6	-4,920.8	-17.3	-15.0
③下水・し尿処理に伴う排出量	1,794.2	1,451.3	-342.9	-19.1	10.7
④車両の使用に伴う排出量	785.3	664.4	-120.9	-15.4	0.0
⑤笑気ガスの使用に伴う排出量	334.8	53.6	-281.2	-84.0	-66.7
合計	66,967.9	62,962.5	-4,005.4	-6.0	-9.5

※四捨五入しているため、数値が一致しない場合があります。

問い合わせ 環境総務課

☎(55)26022 (FAX) (51)05022

第46回 富士市福祉展

市内の福祉施設・団体などの皆さんが、心を込めてつくった作品を展示します。

とき／10月12日(水)～16日(日)
9～17時(16日は16時まで)

ところ／ロゼシアター1階展示室
入場料／無料
内容／絵画、手芸品、書道、写真など、約2500点を展示



問い合わせ 福祉総務課

☎(55)2840 (FAX) (52)2290

第36回 市民福祉まつり

とき／10月16日(日) 9時30分～15時
ところ／中央公園西側イベント広場

※小雨決行。
内容／ステージ発表、各種福祉体験、バザー、啓発コーナー、子どもコーナーなど

※高齢者や障害のある人で介助が必要な人は、来場者サポートボランティアがお手伝いしますので、安心して出かけください。



問い合わせ 社会福祉協議会

☎(64)6605 (FAX) (64)9040